

# 校長あいさつ

## —第16代校長—

創立40年余の伝統ある沖縄県立西原高等学校の第16代校長に就任いたしました儀間昌子と申します。

本校は、沖縄本島中部にあり、昭和49年11月1日に発足され、昭和50年4月に普通科450名の入学生を迎え入れて以来、「文武両道」を標榜する創立43年目を迎える中堅校です。現在は1学年8クラスの計24クラスを有し、健康科学コース(2クラス)、文理コース(4クラス)、特別進学コース(2クラス)のコース制を敷いている。男女バレーボール部、マーチングバンド部は県内において名実共にトップ校として活躍しており、文武両道の代名詞として本校生徒の良き指針となっています。

校訓の「自主・敬愛・創造」を基本に、平和を希求し、国際的視野を有する次代を担う人材の育成を目標の一つに掲げ、「生徒にとって魅力ある学校づくり」を図るための企画・施策を実施する手立てとして、これまで県指定事業に取り組むなど学校活性化に邁進して参りました。

本校を存する西原町は、「文教のまち」を宣言しており、学園都市としての構想が進められている。保育園から大学・短大までを有す中で、町内唯一の高等学校であることから、町民の関心も高く、地域に根ざした学校としての地位を確立しています。

本校の特色として

### (1) 3つのコースで、人間力(個性・能力)を伸ばす。

健康科学コースは、競技スポーツ、生涯スポーツに関する専門的能力を身につけ、健康の基礎、健康の在り方を学ぶ事ができ、大学等への進学を目指す。

文理コースは、普通科の基本的な知識を学ぶとともに、体験的な学習を通して教養を深め、個々の適性や興味・関心にあつた大学等への進学を目指す。

特別進学コースは、早朝必修講座・夏期必修講座・必修模試を通し、国公立大学・私立大学の一般入試での合格を目指す。更に、各コース独自の学習体験(プログラム)や学年として の取組を横断的に行い、帰属意識の高揚及び学校活性化を推進。

### (2) 高大連携・地域連携の推進

「文教のまち」である地の利を活かし、近隣大学と連携し、大学の講義を受講する制度が構築されている。取得した単位は本校の増単位として認めている。さらに西原町教育委員会や町行政機関との連携を積極的に行い、地域に開かれた学校を推進。

### (3) 部活動の活性化

男女バレーボール部は県から強化指定を受け、選手権(春高バレー)の常連校であり、マーチングバンド部は世界マーチングコンテストで世界一に輝く(5回連続金賞)など、国内外で活躍している。他にも男子サッカーは、本年度より協会からの強化指定を受け、女子バスケットボールは、県内上位のチームである等、部活動加入の奨励及び活性化を推進。

西原高校は、部活動の早朝練習や早朝講座に励む生徒達で一日が始まります。放課後も、マ

マーチングバンドの奏でる音やピロティに流れるダンス音楽、グランドいっぱい活動する部員達に、体育館からは掛け声やボールの弾む音が聞こえてきます。このように、青春の汗がほとばしる活気溢れる光景が、西原高等学校の伝統ある姿です。ずっと続いてほしいと願っています。

本年度、マーチング部におきましては、国際舞台「音楽のオリンピック」といわれる4年に1度オランダで開催される世界音楽コンテストに向けて鍛錬を重ねております。生徒の皆さんの活躍を心からエールを送り、更なる飛躍に向け期待したいと思います。

本校の校訓である「自主・敬愛・創造」の合い言葉のもと、真の文武両道を目指し、地域に根ざした魅力ある学校として、職員こころ一つにし、これまで諸先輩方が築き上げてきた素晴らしい歴史と伝統ある校風を受け継ぎ、PTA・同窓会・地域との連携を密にし、信頼される期待される学校づくりに「チーム西原」で邁進してまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「すべて超えられる苦難である。時は今！」